

萌黄 (もえぎ) 通信



こんにちは！
知り合いの75歳の女性が同級生と再婚するというお話を聞いて嬉しくなった堀内貢次（ほりうち こうじ）です。（＾＾）
3月といえば、桜ですね。
開花予想のニュースが気になる時期です。

つい、お花見の予定をたくさん入れすぎてしまい、予定が重なっちゃった～(+_+)ウウウ！」とならないように気をつけてくださいね。

「そこまで言われると～！」

2月20日(日)千葉でヨガの先生に会った時の話です。
休憩時間にミチコ先生にこんなことを聞いてみました。

私「行きたい宿とかはありますか？」

ミ「星野リゾートかな？」

私「どのあたりがいいのですか？」

ミ「その土地の良さを感じられて、スタッフも方言使ってるし、配慮やサプライズも



とっても凄いんだよ！絶対におすすめします・・・！」

そこまで言われると直ぐにでも行きたくなっちゃうくらいワクワクしてきました。（＾＾）

帰ったら早速調べてみようっと。ミチコ先生、素敵な宿の紹介をしていただきありがとうございました。

御影石パーナー仕上げの目地回りが濡れ色になって

御影石の点検口の蓋から濡れ模様が出ています。

回り縁にはシール剤が入っていて、経験上、想定できるのは、純粋に雨水が石の裏面に回って表面まで濡れ色が出ている場合、もう一つは、シール剤自体が何か悪さをして目地部分に濡れ色のシミを作っている場合になります。

いずれにしても対処としては、まずは、シール剤自体をきれいにカットしていきます。

その後にプロパンバーナーで強制乾燥します。

シール剤からのシミの場合ですと、水分というよりも油分なので乾いてきません。この場合は、シールのシミ抜き作業になります。

今回は、プロパンバーナーに反応して、少しずつ乾いてきた

のでシミ抜剤を塗布し、さらにバーナーで強制的に乾燥をさせ浸透性の吸収防止剤を塗布します。最後に濡れ色が再発しないように再度、バーナーを当てて完了しました。



1. 点検口の目地回りの濡れ色シミ



2. 回り縁のシール剤のカット



3. シミ抜き剤塗布



4. 施工完了後

大理石のテーブルに塩酸をこぼして

茶色い大理石にコップ痕が付いたようで、トイレ用の塩酸含有の洗剤で洗ってしまい真っ白です。ダイヤの#80から立ち上げて何とか光沢を復元することができました。



編集後記: タمامシ色の羽のついた「シャカシャカ」という猫じゃらしに食いつきがよく、我が家の黒猫の運動量がかなり上がり体重減になりそうな気配です



萌黄通信 基本的には毎月発行

発行編集責任者 (株)ケイ・アンド・エス 堀内貢次(ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F

(電話) 03-3431-1293: (Fax) 03-3431-7198 感想・ご意見お待ちしております

<https://www.e-kands.jp> (メール) info@e-kands.jp